

令和3年度 箕面市議会行政視察報告書 (文教常任委員会)

1 日程

令和3年(2021年)7月30日(金)

2 視察先

大阪大学箕面新キャンパス(大阪府箕面市船場東3丁目1-20)

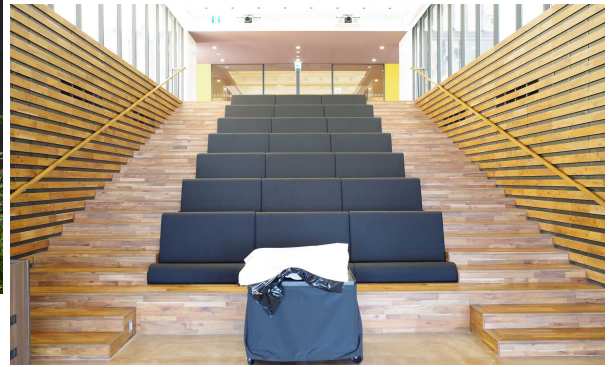
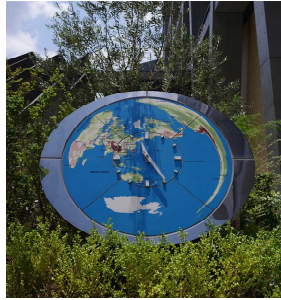
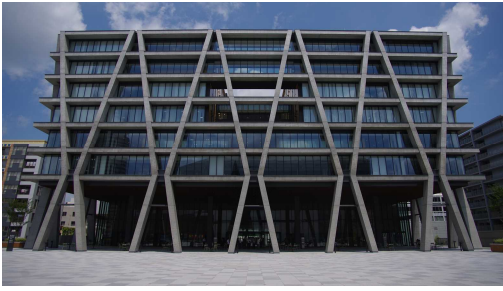
視察項目	1. 大阪大学箕面新キャンパスの見学 2. 今後のビジョンについて
視察目的	本市の新しい玄関口・船場エリアの核となる大阪大学外国語学部を視察し、今後の国際交流・文化芸術のまちづくりを展望する。

3 参加者

委員	神代繁近委員長、田中真由美副委員長、大脇典子委員、山根ひとみ委員、増田京子委員
----	---

大阪大学箕面新キャンパス(大阪府箕面市船場東3丁目1-20)

項目	内容	備考
OUグローバルキャンパスが目指すもの	<p>OUグローバルキャンパスに期待されること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, グローバル人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・語学だけでなく、外国学(語圏学、地域研究)の教育研究 ・世界の約70言語の教育研究 2, 日本語・日本文化の発信拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪大学グローバル日本学教育研究拠点の重要な担い手として、日本語、日本文化研究の拠点となり、国際的なネットワークのハブに 3, 地域の市民と世界を結ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・箕面国際フェスティバルの開催(10月2日、3日) ・地域の多くのイベントや市民講座の継続的開催及び新設 4, スマートキャンパスの実現をめざす <ul style="list-style-type: none"> ・最先端の学習支援環境を整備 ・Society 5.0実現化研究拠点支援事業の実証実験の実施 	<p>説明 大阪大学 外国語学部長</p>
「箕面らしさ」の探求	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生たちに、箕面らしさを発信してもらうためのプロジェクト(箕面観光ボランティアガイド等が協力) ・多様な国籍の留学生たちに「箕面」を教育に組み込んでいる。地域の具体性を見て府や国を理解していく。 ・箕面の魅力を発信 <p>都市空間と自然環境が密接している珍しい地域</p>	<p>説明 大阪大学 日本語日本文化教育センター長</p>
質疑応答	<p>Q.留学生と地域とのつながりにより母国に帰ってからも箕面のことを発信してくれることを期待する。10月の箕面国際フェスティバルのプランは？(神代委員長)</p> <p>A.現在、(公財)箕面市国際交流協会(MAFGA)と調整中。箕面在住の外国人の子ども達に日本語を教えるなど、交流の場を計画中。箕面をアピールできるような企画を進めている。</p> <p>(大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻 教授)</p>	



所 感

大阪大学箕面新キャンパスは、新しい箕面の玄関となる船場エリアの中心的存在となる。地域とのつながりを大切にしている教育理念に大変感銘を受けた。70以上の国と地域から来ている留学生が集う世界に開かれたキャンパスであり、その知が社会に広く還元する場として発展していくことを期待する。

文教常任委員会委員長 神代繁近